



第 30 回 WFB 世界仏教徒会議 第 21 回 WFBY 世界仏教徒青年会議 第 12 回 WBU 世界仏教徒大学会議 バンコク大会 報告

公益財団法人全日本仏教会(JBF/以下本会)が加盟する世界仏教徒連盟(The World Fellowship of Buddhists 以下 WFB)が 10 月 17 日(月)～21 日(金)にかけて開催した「第 30 回 WFB 世界仏教徒会議・第 21 回 WFBY 世界仏教徒青年会議・第 12 回 WBU 世界仏教徒大学会議 バンコク大会」に出席しました。

今回 WFB では創立 72 周年(70 周年記念は 2020 年コロナ禍のため本部にて縮小開催)を記念して、各種会議体と記念式典を WFB 本部(タイ・バンコク市)とマハマクット仏教大学(タイ・ナコーンパトム市)の 2 か所を会場として開催されました。

本大会では、「Buddhism in the Time of Crisis(危機の時代にある仏教)」をテーマに掲げ、世界各国から約 300 名の仏教徒が参加し、WFB 運営の要となる約 2 年に一度の役員総選挙について協議し、新たな会長と事務総長が任命されました。また、2018 年に開催された日本大会に引き続き、仏陀の教えを根本として世界の平和と 2015 年に国連が採択した「SDGs(持続可能な開発目標)」を積極的に推進していくことが宣言されました。

この度の大会には本会より大谷暢裕会長が出席し、WFB 最高顧問を代表して一言挨拶を述べました。また、戸松義晴 WFB 執行役員、日比野郁皓 WFB 人道支援委員長、東海林良昌 WFB 副事務総長と国際部 2 名が参加しました。

WFB とは世界の仏教徒が交流友好親善を図るとともに、仏陀の崇高な教義の普及と世界平和への貢献を目的に、1950(昭和 25)年にスリランカで設立され、本会はわが国唯一のセンターとして加盟し、最高顧問、副会長、執行役員、人道支援委員長、副事務総長を務めています。設立以来、連盟最高の議決機関である世界仏教徒会議(WFB 会議)が約 2 年に一度開催され、各種の活動報告がされるとともに、組織の見直しや将来の活動計画が決定されています。

日本では、1952(昭和 27)年の第 2 回大会、1978(昭和 53)年の第 12 回大会、2008(平成 20)年の第 24 回大会、2018(平成 30)年の第 29 回大会と 4 回開催されています。

開催概要

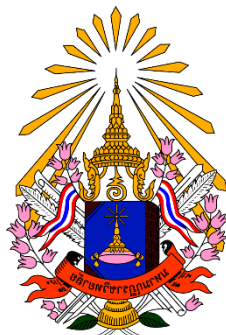
第 30 回 WFB 世界仏教徒会議

第 21 回 WFBY 世界仏教徒青年会議

第 12 回 WBU 世界仏教徒大学会議 バンコク大会

会 場 ①World Fellowship of Buddhists HQ
世界仏教徒連盟本部
(タイ・バンコク市)

②Mahamakut Buddhist University
マハマクット仏教大学
(タイ・ナコーンパトム市)



開催日 2022(令和 4)年 10 月 17 日(月)～21 日(金)

内 容 ○WFB・WFBY・WBU 各種会議
○オープニングセレモニー(19 日)
○常設委員会
○閉会式典

参加者 約 300 名

ロゴ / テーマ 「Buddhism in the Time of Crisis(危機の時代にある仏教)」



各種会議・委員会(17日～21日)

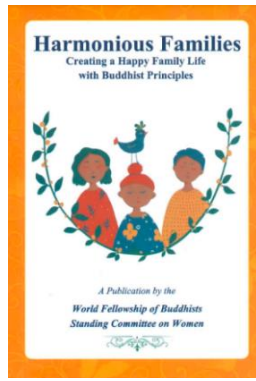


約2年に一度開催されるWFB会議では、各種委員会の活動報告や、大会テーマに基づいた各国に共通する社会問題など提起し、仏教界全体として問題解決に向け意見が活発に交わされます。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、今大会は4年ぶりの開催となりました。

大会テーマを「Buddhism in the Time of Crisis(危機の時代にある仏教)」と題し、世界各国から約300名の仏教徒が集結、世界平和を実現するため民族や宗教に端を発した争いの終息や温暖化などに起因する自然災害による甚大な被害に対し如何に取り組むべきかなど多岐にわたり話し合われました。



執行役員会議と全体会議(総会)で提起された問題はセクション別の常設委員会に細分化し、その活動をより活性化させます。各委員会では問題解決や現代の仏教界に必要な新たな取り組みを行うべく活動目標を掲げ、国や性別、僧侶、信徒という立場を超えた様々な意見交換がされます。



特に WFB には、女性委員会が設置されており、女性や子供の健康と安全、立場について問題を解決し、仏教の教えに基づいた教育の強化と社会活動への女性参画を奨励するため冊子を発行するなど活発に活動しています。

それぞれで取りまとめられた目標や今後の取り組みについて全体会議にて披露され、次回大会に成果報告がされます。起草委員会がまとめた今大会の宣言文(別項)も発表され、各国加盟のリージョナルセンターは宣言に基づいた活動を積極的に取り組んでいきます。同時開催された世界仏教徒大会議(WBU)では、国連が掲げているSDGs推進に注力しており、目標達成に向けたプロセスをアニルWBU学長が発表しました。

総会には本会より大谷暢裕会長も参加しパーリ語による三帰依文と廻向を厳修、世界平和と会議の成功を祈りました。



また、今大会の重要議案の一つとして、WFB 会長を含めた全役員任期満了による総選挙が行われました。長きにわたり重責を担われたパン・ワナメッティ WFB 会長は今大会をもってご勇退されるご意思があり、それを受けた WFB と執行役員は新たな会長を新任すべく、現 WFB 事務総長であり、永年にわたり WFB と WFBY へ貢献されたパロップ・タイアリー氏を推薦し、満場一致で新会長へと任命されました。



就任挨拶では、まず祭壇に鎮座する釈迦牟尼仏とタイ国王御尊影に丁重に三礼、自身の経験や軌跡を交えつつ今まで支えてくださった先人や家族、WFB・WFBY・WBU 関係者に対し感謝の意を述べられ、合掌と共に深々と頭を下げられました。

オープニングセレモニー(19 日)

大会中日である 19 日には、オープニングセレモニーが開催され、タイ王国最高総教主である Somdet Phra Ariyavongsagatayana 法王と本大会会場主である Phra Thep Vajramethi マハマクット仏教大学長が来賓として臨席されました。セレモニー冒頭、法王に対し総供養の儀式が行われ、本会会長も献花供養されました。引き続き、大会開催にあたりタイ国王・タイ国首相・タイ国会議長の祝辞が代読・披露され、大谷会長より WFB と全ての仏教徒を代表して来賓と全ての参加者に向けて御礼と挨拶を述べました。挨拶では、ロシアによるウクライナ侵攻や民族・宗教を発端とした争いに言及し、「武力」と「暴力」では憎悪から抜け出すことは出来ず、仏陀の教えである「智慧」と「慈悲」に基づく行いこそが全ての欲望から解放される手段であると強く訴え、仏教徒の益々の仏道精進について思いを述べられました。



セレモニー終盤では法王よりご垂示を賜り、WFB 創立 70 周年記念と今大会の盛会について祝辞を述べられ、WFB と加盟する各国リージョナルセンターの活動により仏陀の教えが益々弘められ世界が平和で溢れることを念願されました。法王ご退場の際には大谷会長と歓談され、それぞれの立場・役割で仏陀の教えを実践し世界平和へ貢献すること、また再会することを約束し握手を交わされました。



閉会式典後、場所をマハマクト仏教大学内の寺院に移し、参加者全員による記念撮影と閉会法要を厳修、WFB よりマハマクト仏教大学長への御礼が述べられ、バンコク大会は盛会のうちに終了しました。

大会最終日に開催された新役員による執行役員会議では、パロップ WFB 会長が「WFB 会長の役割とは本部から指示を出し教示するだけでなく、各役員・各国リージョナルセンターの意見や問題を集約・監査し、世界平和のために WFB と全ての仏教徒がより良い運営・活動がされるように尽力することである」と述べられ、各国から参加した役員や代表者に対し積極的に本部へ意見を寄せるよう呼びかけました。また、WFB 新事務総長にモンティアン・タナナート氏が任命され、加盟する各センターとの共同事業を活性化させ、より活動の幅を広げたいと思いを述べられました。

各国から参加した役員や代表者は会長を筆頭とする WFB の理念を基に、それぞれ活動することを確認し帰国の途に就きました。

本会は WFB に加盟する日本で唯一のリージョナルセンターとして、仏陀の教えを社会に広めるとともに、世界平和と公益に資する仏教徒の活動を隆盛すべく尽力してまいりますので、引き続きご教導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

議事録(第 30 回 WFB 総会)

1、開会法要

2、会長挨拶(代読)

3、議題提案

→ 承認

4、第 29 回 WFB 総会議事録

→ 承認

5、収支報告・監査報告

→ 承認

6、WFB リージョナルセンター新規加盟(6 団体)

① Buddha Jaksu Vijjyalai Foundation (Mahayana Monastery) : Nakhon Pathom, THAILAND

② Buddhist Relationship Association : Bangkok, THAILAND

③ Macau Buddhism Charity Association : Macau, CHINA

④ Malalasekera Foundation : SRI LANKA

⑤ Foundation of Pali and Dhamma Graduates Association of Thailand under the Royal Patronage of Her Royal Highness Princess Mother : THAILAND

⑥ Yayasan Pendidikan Buddha Dharma Kepulauan Riau Indonesia : INDONESIA

→ 承認

7、選挙基準と手順

→ 承認

8、第 30 回 WFB 総会の役員配置

運営委員会 委員長並びにメンバー

起草委員会 委員長並びにメンバー

審査員

→ 任命

9、執行役員選挙

新会長選出について

→ 無投票による選出を提案

パロップ・タイアリー新会長就任

副会長・執行役員・常設委員会・WBU 役員について

→ 無投票による会長任命

小林正道 副会長

戸松義晴 執行役員

東海林良昌 人道支援委員長

日比野郁皓 WBU 役員

岡野正純 WBU 役員

※日本センターのみ抜粋

10、その他

モンティアン・タナナート新事務総長就任

以上

WFB 2022 Bangkok Declaration

—Buddhism in the Time of Crisis—

We, participants of the 30th General Conference of the world fellowship of Buddhists held at Mahamakut Buddhist University, Bangkok, from 19th to 20th October B.E. 2565 (2022), with the theme **“Buddhism in the Time of Crisis”**, noting that persecution, violation of human rights and freedom, and discordance had undermined the happiness of mankind, do hereby determine:

1. To practice metta, compassion and wisdom in our human interaction, international relations and care for the environment.
2. To respect diversity and multi-culturalism in our daily life.
3. To support the seventeen UN Sustainable Development Goals, particularly in the use of renewable energy, education for children and the empowerment of women.
4. To participate in the conservation of Buddhist heritage sites and to promote heritage education.
5. To further engage in interfaith dialogues as a means to promote understanding and world peace.
6. To practice the Pancasila as a way to fulfil our commitment to mother earth.
7. To further propagate the Buddha Dhamma as a way to respect the sanctity of life and properties, and laying the foundation for a harmonious and peace world.

Special Resolution Unanimous

The 30th General conference of The WFB expresses its deep gratitude and thanks to President H.E. Phan Wannamethee for leading The WFB for the last 25 years with wise leadership and gracious guidance with his outstanding life-long service to the Buddhist community, to his country and for the upliftment and humanitarian assistance to both men and women of the world, keeping and promoting Buddhist values.

The conference wishes him a long and healthy life.

WFB 2022 バンコク宣言

—危機の時代にある仏教—

私たちは、「危機の時代にある仏教」をテーマとして 2022 年 10 月 19 日から 20 日、タイ・バンコクのマハマクット仏教大学で開催された第 30 回 WFB 世界仏教徒会議の参加者として、迫害、人権と自由の侵害、そして互いの不調和が人類の幸福を損失させることの無いよう、以下を決定しここに宣言します。

1. 私たちの人間関係、国際関係、環境への配慮において、慈悲と智慧を実践する。
2. 日常生活において多様性と多文化主義を尊重する。
3. 国連が掲げる 17 の SDGs（持続可能な開発目標）について支援し、特に再生可能エネルギーの使用と子供たちの教育、女性のエンパワーメントを促進する。
4. 仏教遺産の保存活動に参加し、遺産教育を促進する。
5. 相互理解と世界平和を促進するため、諸宗教間の対話をさらに深める。
6. 母なる大地（地球）への責任を果たすため、パンチャシラ（五戒）を実践する。
7. 生命と財産の尊厳を守り、調和のとれた平和な世界の基礎を築くために、仏陀の教えをさらに弘める。

特別全会決議事項

第 30 回 WFB 世界仏教徒会議は、就任から 25 年間にわたり全ての仏教徒コミュニティへの生涯の奉仕として、仏教の価値を促進し続け、世界中の老若男女の向上と人道支援に尽力し、WFB を賢明なリーダーシップと思慮深く丁寧な指導で率いてくださった H.E. パン・ワナメッティー会長に衷心より感謝の意を表します。

私たちは彼の長寿と健康を願っています。





〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4 明照会館 2F

TEL:03-3437-9275

Written by JBF35thDiv

Date Created:1 Nov. 2022(R4)